平成 30 年 9 月 27 日

報道機関各位

熊本大学

熊本大学 知のフロンティア講座 熊本県の防災・減災を考える

来る11月17日・24日、熊本大学と熊本地方気象台との共催で表題の講座を開催いたします。

平成24年7月九州北部豪雨、平成29年7月九州北部豪雨、そして平成30年7月豪雨など、ここ数年の間に各地で豪雨災害が多発しました。これら続発する豪雨や台風の大型化など「極端な気象現象」は地球の気候システムの変化によるものと考えられており、これからも増加傾向にあることが指摘されています。このような気象災害に対応するため、災害が起きると予測される時刻に向かって、「いつ」「誰が」「何をする」かを事前に決めておき、有事の際は実行に移す「タイムライン」と呼ばれる防災・減災対策がはじまっています。この講座では「タイムライン」を紹介し、地域の防災・減災への取り組みを一緒に考えます。

つきましては、広く一般の方へお知らせいただくとともに、当日の取材方、よろしくお 願いいたします。

記

【日 時】平成 30 年 11 月 17 日(土) 9:45~16:20 平成 30 年 11 月 24 日(土) 10:00~16:00

【場 所】熊本大学黒髪南キャンパス 仮設校舎 F 棟 1 階スタジオ (熊本市中央区黒髪 2-39-1)

【主 催】熊本大学 くまもと水循環・減災研究教育センター 減災型社会システム部門 熊本地方気象台 熊本大学 熊本創生推進機構

文部科学省 地(知)の拠点整備事業

※詳しくは別紙チラシをご覧ください。

【お問い合わせ先】

熊本大学くまもと水循環・減災研究

教育センター

TEL: 096-342-3489

Mail:gensail@kumamoto-u.ac.jp



2018年 9:45 > 16:20 10:00 > 16:00

熊本大学黒髪南キャンパス

校舎F棟1階スタジオ



平成24年7月九州北部豪雨、平成29年7月九州北部豪雨、そして 平成30年7月豪雨など、ここ数年の間に各地で豪雨災害が多発し ました。これら続発する豪雨や台風の大型化など「極端な気象現象」 は地球の気候システムの変化によるものと考えられており、これから も増加傾向にあることが指摘されています。このような気象災害に 対応するため,災害が起きると予測される時刻に向かって、「いつ」「誰 が」「何をする」かを事前に決めておき、有事の際は実行に移す「タ イムライン」とよばれる防災・減災対策がはじまっています。この講 座では「タイムライン」を紹介し、地域の防災·減災への取り組みを 一緒に考えます。

1日目:11月17日(土)

9:45 · 趣旨説明 / 熊本大学 松田博貴

10:00 ・ タイムライン (事前防災行動計画) の考え方 / 熊本県危機管理防災企画監 有浦隆

10:50 ・ 熊本の自然災害史 / 熊本大学 北園芳人

11:30 ・ 防災気象情報の利活用について / 熊本地方気象台 川添剛司 - (12:10~13:00 休憩)

13:00 ・ 自治体担当者視点でみた大雨時における防災対応判断 ワークショップ/熊本地方気象台

14:40 • 市民向けマイタイムラインを学ぶ (鬼怒川水害を例に) / 熊本大学

16:10・マイタイムライン作成に向けての準備について/熊本大学

2日目:11月24日(土)

10:00 ・マイタイムライン作成実習 / 熊本大学・熊本地方気象台 ---- (12:00~13:00 休憩) -

13:00 ・マイタイムラインの発表と討議/熊本大学・熊本地方気象台

15:45·講評/熊本地方気象台次長 青木恒生

講座に関するお問合せ

熊本大学くまもと水循環・減災研究教育センター Tel: 096-342-3489 email: gensai1@kumamoto-u.ac.jp

受講お申し込み

熊本大学熊本創生推進機構 地域連携部門 (担当:長尾)

Tel: 096-342-2044 (受付時間: 平日 9 時~16 時) email: seisoken@kumamoto-u.ac.jp











+12h

-6h

0h

+3h

+72h